

平成24年度 教育委員会 第6回定例会 議案

1 日 時 平成24年6月25日（月） 午後1時

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 議 事

第15号議案 静岡県立青年の家等の設置、管理及び使用料に関する規則の
一部を改正する規則

… 1

(3) 報告事項

(4) 閉 会

第 15 号議案

静岡県立青年の家等の設置、管理及び使用料に関する規則の一部を改正する規則

静岡県立青年の家等の設置、管理及び使用料に関する規則の一部を別紙のとおり改正する。

平成 24 年 6 月 25 日提出

静岡県教育委員会教育長

静岡県立青年の家等の設置、管理及び使用料に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成24年7月 日

静岡県教育委員会委員長 金子容子

静岡県教育委員会規則第 号

静岡県立青年の家等の設置、管理及び使用料に関する規則の一部を改正する規則

静岡県立青年の家等の設置、管理及び使用料に関する規則（平成18年静岡県教育委員会規則第18号）の一部を次のように改正する。

改正前	改正後
(指定管理者の指定の申請書等) 第11条 (略) 2 条例第15条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。 (1)・(2) (略) (3) 法人にあつては法人の登記事項証明書、法人以外の団体にあつては代表者の住民票の写し <u>(代表者が外国人である場合にあつては、外国人登録証明書の写し)</u> (4)～(6) (略)	(指定管理者の指定の申請書等) 第11条 (略) 2 条例第15条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。 (1)・(2) (略) (3) 法人にあつては法人の登記事項証明書、法人以外の団体にあつては代表者の住民票の写し (4)～(6) (略)

備考 改正箇所は、下線が引かれた部分である。

附 則

この規則は、平成24年7月9日から施行する。

<概要>

静岡県立青年の家等の設置、管理及び使用料に関する規則の一部を改正する規則

1 改正の理由

外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の改正に伴う改正

2 改正の内容

外国人が指定管理者の申請書に添付する書類として指定していた外国人登録証の提出に関する規定を削る。(第 11 条関係)

3 施行期日

平成 24 年 7 月 9 日 (法律施行日)

第6回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
1	第8期静岡県生涯学習審議会（第1回）の概要	1
2	公務災害及び通勤災害	2
3	特別支援セミナー	3
4	埋蔵文化財センター常設展「古代からの贈り物-発掘調査から知る静岡県の歴史」	4
	平成24年7月の主要行事予定	5
5	<非> 重大な生徒指導事案報告（平成24年5月）	非

第 8 期静岡県生涯学習審議会（第 1 回）の概要

(教育政策課)

- 1 開催日時 平成24年 6 月 18 日 (月) 午前10時15分～正午
- 2 出席者 審議会委員 (12/15人)、教育委員会事務局及び知事部局関係者
- 3 第 1 回審議会の概要

(1) 諮問

ア 諮問事項

「『有徳の人』づくりを目指して
～ これからの生涯学習社会に求められる施策の方向性 ～」

イ 諮問内容

- これからの生涯学習社会に求められる施策の方向性及び具体的な施策の課題等
- 成果指標の達成に向けた今後の取組等

(2) 会長及び副会長の選出

会 長：上 條 秀 元委員 (常葉学園大学教育学部生涯学習学科長、教授)

副会長：重川希志依委員 (富士常葉大学大学院環境防災研究科長、教授)

(3) 事務局説明

- 県生涯学習審議会条例、県生涯学習審議会答申の概要と施策化の状況等
- 静岡県生涯学習推進計画の概要及び進行管理の状況等

(4) 「『有徳の人』づくり」における課題についての主な意見

ア 「『有徳の人』づくりアクションプラン」の推進に関すること

- 学びの中で、県民に「有徳の人」になってもらうための仕掛けはどうあるべきか、ということについて考えていきたい。
- 「有徳の人」の育成を学校教育のみで行うのには限界がある。家庭や地域も巻き込み、社会総がかりによる人づくりが大切である。

イ 施策の方向性に関すること

- 「目標」とはアクションプランの成果指標にもある数値目標等を示すのに対し、「目的」とは「〇〇のために」という視点によるものであるので、「目的達成に向けた目標の設定」という示し方が重要である。
- 困難を抱えた人から様々な相談を受けている。そこで感じるのは、「その人に合った教育」「その人の心が折れない教育」の必要性である。

ウ 個別の施策に関すること

- 「『信頼できる先生がいる』と回答した児童生徒の割合」が示されているが、信頼を得るには、児童生徒とふれ合う時間の確保が必要である。
- 教員の資質能力向上のための研修に、保護者やPTAの意見を反映させる必要もあるのではないか。

エ 審議会の持ち方に関すること

- 大局的な視点から、「震災を踏まえて震災に備える施策」「県民に主体性を持たせる施策」などを議論する必要があるのではないか。
- 議論の焦点化が必要であると感じる。
- 例えば「絆の形成」をキーワードとして、ライフステージごとの施策の方向性を協議するなどの絞り込み方も必要であると思う。

4 今後の予定

平成25年 7 月の答申手交を目途とし、全 6 回の審議会を開催する。

(件名)

公務災害及び通勤災害

(福利課)

1 公務災害の発生状況(平成24年4月30日現在) (単位:件数)

年 度	発生件数(進達件数)
19年度	102(104)
20年度	102(102)
21年度	106(107)
22年度	115(119)
23年度	108(111)

※ 政令市を除く

(1) 平成23年度公務災害発生原因別件数 (単位:件数)

区 分	件 数	区 分	件 数
体育授業中	10	部活動指導中	17
体育以外の授業中	6	生徒の暴行	2
校内体育大会中	7	校外活動指導中	3
授業準備中等	6	校内移動中	9
授業以外の職務従事中	36	出張中	
学校行事従事中		その他	8
環境整備等校内作業中	4	合 計	108

(2) 公務災害発生校種別件数 (単位:件数)

年 度	校 種					合 計
	小学校	中学校	高等学校	特別支援	事務局	
19年度	36	14	35	17		102
20年度	25	15	30	30	2	102
21年度	31	16	41	18		106
22年度	29	24	33	29		115
23年度	35	20	29	24		108

2 通勤災害の発生状況(平成24年4月30日現在) (単位:件数)

年 度	校 種					合 計
	小学校	中学校	高等学校	特別支援	事務局	
19年度	1		5	1		7
20年度			1	2		3
21年度	2	1	6	2	1	12
22年度	2	1	5	2		10
23年度	1	1	5	1		8

(件 名)

特別支援セミナー

(学校教育課特別支援教育室)

1 趣旨

平成 23 年度に終了した文部科学省委託事業「特別支援教育総合推進事業」では、グランドモデル地域（小山町、菊川市、御前崎市）を指定し、一定の成果をあげてきた。

同事業におけるグランドモデル地域での取組を基に、学校間ネットワークの構築・強化、相談支援ファイルの導入・活用、早期からの支援体制の構築・充実について、市町教育委員会・保健福祉担当課担当者等が、各市町の取組の実状を知ったり、充実のための手立てを議論したりする場を設け、同事業の成果を全県に広げる契機とする。

2 セミナーの概要

(1) 日時・会場

平成 24 年 7 月 12 日（木）静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

(2) 次第

- ・開会挨拶
- ・講演「地域での支援体制を構築するために」（仮称）
講師 独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター
発達支援室主任 臨床心理士・言語聴覚士 杉山 修 氏
- ・特別支援教育総合推進事業グランドモデル地域からの報告
（小山町、菊川市、御前崎市）
- ・情報提供「相談支援ファイルの普及について」
静岡県手をつなぐ育成会会長 小出 隆司 氏
- ・地区別分科会

(3) 参加対象者

各市町 3 名

各市町障害保健福祉等担当者 1 名

各市町教育委員会担当者 1 名

各市町チーフ・コーディネーター 1 名

※チーフ・コーディネーターの参加については、各市町教育委員会において人選

(件 名)

埋蔵文化財センター常設展「古代からの贈り物―発掘調査から知る静岡県の歴史」

(埋蔵文化財センター)

1 目的

県が保有している出土文化財の活用を図るとともに、静岡県の歴史を学べる場を県民に提供する。将来的には、より多くの歴史資料を活用することにより、総合的な歴史学習の場を目指す。当面は、埋蔵文化財センターが管理している資料を用いて旧石器時代から中世（戦国期）までの歴史を通史的に概観する。

2 展示場所

県立中央図書館（静岡県文化センター）3階 展示室

3 展示内容と主な展示品

(1) 旧石器時代

狩猟具の変遷を中心とした石器の変遷、静岡県に特徴的な陥穴、日本最古級の石器など旧石器調査の先進県である静岡県の最新成果を紹介する。

長泉町梅ノ木沢遺跡・沼津市的場遺跡出土石器、三島市下原遺跡陥穴剥取り資料など

(2) 縄文時代

関東や中部高地と関連の深い東部地域の土器の変遷から社会の変化を紹介する。

三島市押出シ遺跡・長泉町桜畑上遺跡出土土器など

(3) 弥生時代

集落遺跡から出土した遺物を中心に、集落の構造や生産活動の様子、後期に成立する静岡県域における地域性などについて紹介する。

浜松市将監名遺跡出土土器・石器、浜松市角江遺跡出土木製品、

磐田市西の谷遺跡出土銅鐸（レプリカ）及び出土状況など

(4) 古墳時代

前代の地域性から古墳を代表とする画一化への変化といった社会構造を解説するとともに、大陸からの新技術の導入など東アジアの歴史的脈絡と関連した社会であったことを紹介する。

森町天王ヶ谷横穴群出土遺物・沼津市的場古墳群出土遺物、

藤枝市衣原古窯跡出土遺物など

(5) 古代

律令体制の完成と転換・仏教の興隆など、東アジア文化圏において「日本」が国家として形成・展開した時代における静岡県域の様相を紹介する。

浜松市井通遺跡出土遺物、静岡市内荒遺跡出土銅印・帯金具、

静岡市神明原・元宮川遺跡出土人形木製品・馬形土製品など

(6) 中・近世

集落遺跡にみる中世の市井の人々の生活と城館遺跡にみる戦国大名の暮らしぶりを対比することにより当時の社会構造を紹介する。

磐田市元島遺跡出土遺物、静岡市駿府城内遺跡出土遺物、

伊豆の国市韮山城跡出土遺物など

4 オープニングセレモニー

平成 24 年 7 月 7 日（土）11：00～ 中央図書館展示室前

教育長及び埋蔵文化財センター所長挨拶、テープカット

埋蔵文化財センター職員による展示解説